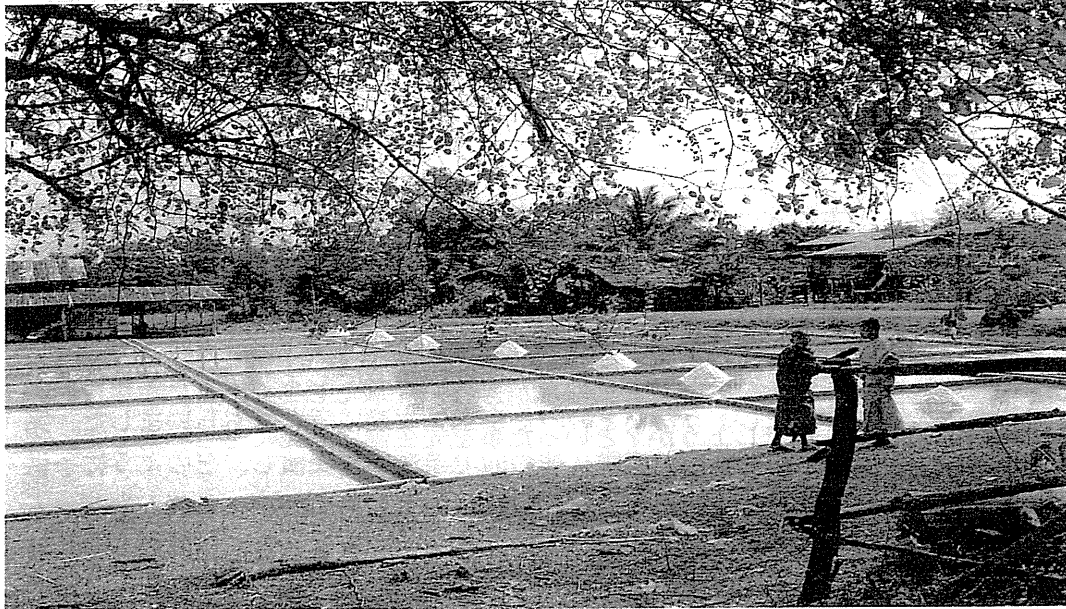


じゃっど

平成 15 年 8 月 29 日



ラオス（ビエンチャン）の塩田風景

残暑お見舞い申し上げます。

平成 15 年度の活動がスタート致しました。

本年度もご支援、ご協力の程、宜しく願いいたします。

さて、7 月 26 日の総会は、出席者 31 名（正会員の委任状 15 名）で、正会員 38 名の過半数以上の為成立いたしました。総会には、遠くは、鹿児島県有明町や日置郡、鹿児島市からも出席いただきました。平成 14 年度事業報告ならびに平成 14 年度会計報告は承認されました。別紙の総会資料をごらん下さい。

平成 14 年度は、JICA 小規模開発パートナー事業を行い、沢山の成果がありました。知識があっても、即行動を変えられないものですが、吉田いつこ氏、藤島美由紀氏の頑張りのお陰で、子供たち自身の生活の中に保健教育が根付き、子供たちから家庭の中に、大人へ伝えられる実績がみられました。短期間に大きな影響を与えました。ラオスや日本国内の多くの方々のご支援のおかげさまでした。

平成 15 年度について、吉田いつこ氏は、引き続き現地に残って活動を続けます。藤島美由紀氏に換わり、古閑由佳里氏に加わっていただき、本年度は、スタート致しました。

総会后、引き続きラオス現地活動の報告会を行いました。報告会では、ラオスでの活動を終えた藤島美由紀氏（愛知県在住）、サヤ氏（引き続きラオスでの活動に参加）が、この 1 年間のじゃっどの活動を報告しました。報告は、以下のとおりです。

ラオス活動報告 ～鉤虫対策プロジェクト～

会計事務担当 藤島美由紀

はじめに

平成14年7月から15年6月まで、ラオス国ビエンチャン特別市サイタニー郡・シーコッタボン郡の小学校4校と分校1校で、JICA小規模開発パートナー事業より活動費を頂き、寄生虫予防と学校保健・トイレ作りを組み合わせた活動を行いました。

鉤虫対策プロジェクト

今回のプロジェクトは主に3つの活動が柱で、1. 衛生教育、2. 健康診断、3. トイレ設置がありました。

衛生教育：小学校教師対象に2日間のワークショップを行い、例えば、水汲みをしている絵のカードが何枚かありますが、どこで汲む水がきれいな水でしょうか？寄生虫はどのようにして体内に入ってくるのでしょうか？といった事を先生達に考えてもらいました。実技では、先生たちが手洗い方法を学び、実際に皆の前で手洗いを実演し、どのように子供たちに教えるかをトレーニングしました。また、WHOの寄生虫予防ゲーム（人生ゲーム形式）を使用し、駆虫剤を飲む頻度は？手はいつ洗いますか？虫がおなかにいるとどんな症状が出ますか？などの質問カードで、大人も子供も楽しみながら学べます。

健康カードは、身長、体重、貧血検査、検便の検査結果を記入し、学校で子供たちへ手渡し家に持って帰り、結果を父兄にも見てもらい子供たちの健康状態を先生、子供、そして父兄にも関心を持ってもらえるようにしました。子供たちを通して、学校から家庭へ、両親や兄弟姉妹へ、また近所の子どもたちへも学んだことが伝わっていくことは、素晴らしいです。

活動を通して子供たちは、トイレの後に手洗いをするようになり、トイレ清掃もするようになってきました。これはトイレが完成し、蛇口から水が使える、清潔なトイレを使用する事が可能になり、先生への働きかけ、先生から子供への指導が根付いてきたためと思われます。

健康診断：駆虫薬を投与する前後に検便を行い、計4回実施しました。貧血検査はフィールドで行える検査キットでチクッと指先を指すものです。身長・体重測定は子供たちの成長を把握するのに役立ちますが、測定は子供たちだけでなく先生も楽しみにしていたようでした。

トイレ設置：今回設置したトイレには3層に分かれた浄化槽がついていました。（注）ラオスでは通常トイレ下方に数mの穴が掘ってあり、満杯になると別な場所へトイレを移動させます。井戸掘りは村人や井戸掘り職人が手掘りで掘りました。

自転車ポンプの取り付けはラオス国立大学工学部の先生、スタッフ、ボランティアの方の協力のもと完成しました。自転車ポンプは中古自転車を利用しており、故障が度々発生し、また、トイレや手洗い場の水漏れ、排水管の詰りなどメンテナンスがとても重要でし

たので、学校を訪問し工具・マニュアル本を提供し、先生が管理できるようにメンテナンス指導を行いました。

ナテ村では自転車ポンプ用の小屋を住民が参加し、村の木材を使って建てました。この日は50人以上の男性が集まり、木を製材し、柱、壁を造りました。

絵本出版：イギリスで出版されている保健教育用の絵本 *Dirty Water*(きたない水)、*Flies*(ハエ)の2冊を原作の英語版からラオス語に翻訳し、原本はアフリカでしたのでイラストと設定をラオスに変えて出版しました。各2,500冊発行し、ビエンチャン市内でジャッどが活動する郡の小学校へ配布しました。

活動に参加してくださった方々：齋藤さん、瀬筒さん、村方さん、奈良さん・サイカム先生はじめ工学部の皆さん等、たくさんの方が協力をしてくださいました。ありがとうございました。

まとめ

活動中は皆さんに大変ご協力を頂きました。また、ジャッどツアーでラオスを訪問された方とは活動地と一緒に視察し、ラオスの子供たちと交流会も企画し、鹿児島島の阿久根小学校の子供たちからビデオレターや絵などが贈られ、お返しにラオスの子供たちのものが贈られ、草の根の交流も実現しました。

活動では健康や衛生に対する先生と子供たちの意識が変わって来たことは大きな収穫でした。

最後に、一緒に活動してきたラオス人カウンターパートの Dr.ソムチット、Dr.ヴィエンヴィライ、吉田いつこさん、マイさん、そしてラオスの先生と子供たちから多くの事を体験させていただきました。ありがとうございました。

ラオス・ウドムサイ県における健康教育プロジェクト進行状況

報告者：サイヤ キエンペット

本日は、年次総会に出席でき大変うれしく思っています。

現在ジャッどがウドムサイ県ではじめようとしている健康教育プロジェクト（教材パックを用いた小学校向け学校訪問活動）の準備として進めてきたことを報告します。

1. 紙芝居（2セット）：*Dirty water*、*Uncle George Feeds His Baby*（ジョージおじさん 赤ちゃんにご飯を食べさせる）。ラオス語版紙芝居台本および紙芝居使用方法是最終段階で出版目前。
2. *Dirty Water* と *Flies* のテーマソング5曲（カラオケBGM含）作曲済CDに録音。
3. 絵本 *Dirty Water* がラオス語版ラジオドラマとなり、カセットに録音済。ドラマ *Dirty Water* は7月23日ラオス国立ラジオ局(AM,SM)から21:00~21:30pmに初放送された。
4. 毎週日曜日には国立ラジオ局のFMで生放送される。
5. 上記番組は現地視聴者の反響をみるため、更に数ヶ月放送予定。
6. ウドムサイ県では小学生の60%以上が少数民族なので、今後、国立ラジオ局の

少数民族語担当部と協力し、少数民族のことばであるモン語、クム語のラジオドラマを作成予定。

モン族、クム族の子供たちに自分たちの言語のラジオドラマをきいて、理解を更に深めてほしいと願っています。

(注：報告会の後で、テーマソングとドラマはテープ及びCDから、美しい絵入りのCDに録音されました。アクティブ神崎氏のご協力によります。サヤさんがラオスに持ち帰り、ラオスのラジオ版にCDで届け、放送をお願いしました。)

Dr. ビエンビライからのコメント

☆ 目的について (達成度)

*大変成功したと思われる

*じゃっどは良い方法で、行った。そして地域や関係したところにおいても、他のプロジェクトに比べて、かなり地域の人々の参加をうながした。

☆活動

*1年間の活動を通して、すべての活動はうまくいった

*しかし期間が短かったので、時々、ラオスのスタッフが時間が取れないときなどじゃっどだけで村へでかけた。

☆プロジェクトの今後

*じゃっどはプロジェクト終了後も、学校保健に関して、ビエンチャン保健省及び教育省に連携を呼びかけてほしい (年に1~2回)

*ラオス側としても、例えば、村長、校長、PTA、私たちの活動に賛同してくれる人 (又は批判的な人) 等、各部門に呼びかけて、小規模でもミーティングを行いたい

*このプロジェクトは是非継続して、ビエンチャンの学校保健のモデルとなってほしい

14年度事業報告

1 NPO法人化

NPO法に基づく非営利団体として鹿児島県に申請手続き中である。事務局が書類作成に手間取り、進んでいない。

2 鉤虫対策（JICA小規模開発パートナー事業）

ヴィエンチャン市サイタニ郡、シーコッタボン郡で、寄生虫対策（特に鉤虫、回虫などの土壌感染寄生虫；トイレが予防に有効）をテーマにして、セミナー、検便、トイレづくり、トイレの水（流すためと、手洗い用）の設置を行った。資金はJICA小規模開発パートナー事業。（7月1日に、吉田いつこ、藤島美由紀の2名がラオスに出発。村方ちづる氏（臨床検査技師シニアボランティア）斉藤氏（井戸や水道の専門家）、奈良氏（工学部シニアボランティア）その他の協力してくださる方々を得て活動。大変高い評価を受けることができた。対象地区の子供達の行動変容までみることもできたことが評価された。

3 ボケオ、サニャブリでの学校保健事業

ボケオ県、サニャブリ県で、教員を対象にした学校保健セミナー、児童を対象にした健康診断と、駆虫薬の投与を行ってきた。今回、鉤虫対策で派遣の吉田いつこ氏が、協力隊を育てる会からの助成金を申請し、資金を確保した。ボケオではDr. ソンボーン、サニャブリではDr. カンマンがマネージメントした。

4 バザーなど資金調達

井戸やトイレ、校舎の屋根、壁の工事中資金は、1年以上間前からの見積もりがしにくい。助成金よりも自己資金の方がすばやく、小さいことにも対応しやすい。前回総会で資金調達を行うことが決定した。現地から品物を持ち帰り、会員が預かって販売した。純心大学のバザー、祇園祭、日曜フリーマーケットなどでも販売した。現地で作成したTシャツが好評であった。

5 広報

現在、会員へ郵送している。郵便局ににおいている。神崎兄妹によりホームページ完成。ラオス便りをメールで届けはじめた。

平成14年度会計報告

1 収入の部

前年度繰越	738,306
会員会費(2000×177名、年)	392,000
寄付金(個人寄付)	690,184
(団体寄付:九電ユニオン)	500,000
(“じゃっど”サポート会)	263,644
机いす募金	255,000
JICA 小規模開発パートナー事業	9,946,050
(H14.7.1～H15.3.31)	8506050
(H15.4.1～H15.6.30)	1440000
吉田さん資金(協力隊を育てる会)	300,000
今井基金(助成金)	300,000
バザー収入	564,720
受取利息	30
ツアー参加費(渡航費)	337,262
計	14,287,196

2 支出の部

ラオス;

机いす募金	130,000
JICA 小規模開発パートナー事業	9,953,367
(H14.7.1～H15. 3.31)	8,495,377
(H15.4.1～H15. 6.30)	1,447,317
JICAへ返金	10,673
協力隊を育てる会の事業	300,000
バザー用品購入	274,823
ツアー参加費(渡航費)	337,262
ポンプ代、バケツ代	11,500
現地会合費	20,000
小計	11,026,952

国内;

通信費	77,782
広報費	31,267
事務用品費	302,462
他のNGO連帯	33,000
写真	12,477
会合費	33,911
交通費	221,410
滞在	20,000
その他	162,655
小計	894,964

支出合計	11,921,916
繰越	2,365,280

会計監査報告

平成14年7月1日から平成15年6月30日の期間のじゃっどの収支決算に関し、会計帳簿とその証拠書類および関係書類を監査した結果、確かに相違ないと認められましたのでここに報告します。

平成15年7月22日

監事 安部 良寛



平成15年度事業計画

1 事業実施の方針

ラオス国の学校保健教育の継続性を考えた、ラオス人による活動が展開されるようこれまでの活動を続けて、また発展させて行う。

国内に於いては、開発教育をすすめて、途上国への理解を求めるとともに、ラオスへの援助協力依頼に取り組む。

2 事業の実施に関する事項

2-1 ヴィエンチャン

教師を対象（30名）にした学校保健教育セミナーを開催する。重点対象校を教育委員会に選出してもらい、対象者約500人に対し健康診断（寄生虫の駆虫薬投与、救急薬品の配布を含む）、文房具供与を行う。学校の建物の補強などに寄付をする。

昨年度の鉤虫対策（JICA小規模開発パートナー事業）対象校を訪問し、その後の学校保健授業の状況、トイレの使用状況を視察し、駆虫薬を投与する。また、昨年度建設したトイレ建物と自転車ポンプのメンテナンスを行う。学校保健教材を作成する。

2-2 ボケオ、サニャブリ

教師を対象（ボケオ35名、サニャブリ35名）にした学校保健教育セミナーを開催する。重点対象校を教育委員会に選出してもらい、各地区それぞれ対象者約600人に対し健康診断（寄生虫の駆虫薬投与、救急薬品の配布を含む）、文房具供与を行う。

2-3 ウドムサイ

JICAのKIDSMILEプロジェクトから、委託を受けウドムサイ県で、活動を行う。70校を対象にする。保健と教育の協力という大きな課題をいただいている。県、群レベルでIEC（Information, Education, Communication、教材開発のこと）セミナーを開催し、70校の小学生へセミナーを受けた教師からの健康教育が届くようにしたい。

前年度に作成した”dirty water” “ラオス版とそのラジオ番組を使う。

2-4 国内

鹿児島県国際協力協会、小学校、鹿児島パイロットクラブなどで、“じゃっど”の活動を含めた開発教育を行う。

15年度 予算

1. 収入の部

前年度繰越	2,365,280
会員会費	300,000
寄付金	200,000
机、いす募金	100,000
JICA事業	4,000,000
バザー収入ほか	154,720
計	7,120,000

2. 支出の部

ウドムサイプロジェクト(JICA-KIDSMILEからの委託)	4,000,000
学校保健セミナー(ヴィエンチャン、ボケオ、サヤブリ)	264,000
学校健康診断(ヴィエンチャン、ボケオ、サニャブリ)	250,000
文房具供与(ヴィエンチャン、ボケオ、サニャブリ)	250,000
学校保健教材作成	200,000
机、いす	100,000
学校補修工事(トイレ、自転車ポンプを含む)	50,000
視察、評価	600,000
ウドムサイプロジェクト("じゃっど"負担分)	400,000
ラオス光熱費、家賃	600,000
国内活動費	383,000
通信	70,000
広報	70,000
事務用品	50,000
他のNGO連帯	33,000
写真	20,000
会合	10,000
滞在	20,000
交通	100,000
その他	10,000
予備費	23,000
計	7,120,000

【国内活動】

- 7月12日（土）＊じゃっどホームページ更新（神崎絢子さん）
7月14日（月）＊じゃっど会（じゃっどスタッフ参加）
7月22日（火）＊会計監査
7月19日（土）＊川内祇園祭にてラオス雑貨の販売（向田公園にて）参加、
＊スッカパップ（ラオス保健医療の会）で講話（東京順天堂大学にて）
「小さなNGO じゃっど 10年の歩み」帖佐会長
7月26日（土）＊第11回定期総会、ラオス活動の報告会（ふれあいプラザにて）
8月6日（水）＊高校生国際協力実体験プログラムで講演
帖佐会長（北九州市のJICA九州国際センターにて）
8月21日（木）＊川内郵便局 郡氏事務所訪問（11月のNGO活動報告会の依頼）

- ＊ 国内活動に、多くのじゃっど会員や会員の友人などに参加いただきました。
あらためて、感謝いたします。
- ＊ 10月25日（土）、10月26日（日）に純心大学祭（川内市）、かごしま地球人まつり（川内市国際交流センターにて、かごしま国際交流協会主催）が予定されております。参加可能な方（会員以外の方も大歓迎）は、事務局までご連絡下さい。
- ＊ 次回のじゃっど会（奇数月の第3月曜日）は、9月15日（月）が祝日のため9月8日（月）午後7時～8時、寿泉堂にて行います。よろしくお願いします。
- ＊ じゃっど視察ツアーの募集：9月21日（日）～9月28日（日）に予定しております。帖佐会長が行きますが、参加希望の方は、事務局までご連絡下さい。日程が迫っていますので、早めにご連絡下さい。

【事務局からのお知らせ】

感謝の気持ちとともに、ご支援ご協力くださった皆様のお名前を記載させていただきます。
（以下敬称略）

新規会員（2003年7月～8月）

高橋真弓（串木野市）、小林真美（鹿児島市）、山内京子（広島県）、田中英世、辛島芳子、馬場ナオミ（川内市）、

平成 15 年度会費 (2003 年 7 月～8 月)

岩月洋孝、岩月たち子、神崎侯至、久木野勲、山本澄子、内田耕也、松下忠洋、松下章子、上床久子、上床聖子、二木種生、児玉充敏、永山ゆかり、牛ノ浜妙子、矢野千鶴子、安藤ツギエ、関隆子、今村久美子、木場吉彦、田中英世、辛島芳子、神田安代、久木野恵、久木野淳一、馬場ナオミ、牧田弘子、三本晃子、森卓朗、(株) ハートフル、橋口正美、橋口喜久、愛甲勝、古田宣稔、土川京子、南修、南恭子、新原千恵子、中村吉治、中野育子、田畑福男、外園龍子、庵地紘一、田中律子、松元邦明、神彰男、若松あつ、古川孝子、青崎シヅ子、川畑善照、中島香代子、湯之谷チエ子、浦島博文、本田文男、愛甲明実、増岡淳子、宮脇美智子 (川内市) 高橋真弓、尻無浜むつみ、小屋一美、有川清猛、高橋清輝 (串木野市) 小林真美、松野広樹、坂上恵子、豊平美和子、長友由起子、豊平修、豊平安子、南武嗣、鹿島友義、福永兼蔵、山崎ひろみ、夏越久美子、桑原美智子、福田弘子、米山史朗、帖佐久子、貞方洋子、納光弘 (鹿児島市) 上野昌子 (薩摩郡) 川添寿、川添智恵、中島美智、帖佐秀人、黒江豊、伊東正樹 (日置郡) 西睦夫、中司裕子 (福岡県) 金田英子 (長崎県) 川添恵 (佐賀県) 今村健志朗、大熊京子、大熊昭晴、松元力、高橋栄子、長崎綾子、木場眞一、若松裕子、土瀬戸邦洋、宇田川国男、国田宏、松本貞治、和地平十郎、北村充宏、阿部雅昭、阿倍貴美子、堀内恵子 (東京都) 河野章 (大分県) 野澤美香 (岐阜県) 山内京子、岩本由美 (広島県) 鮫島久志、鮫島節子、藤井洋、鳥山信子 (千葉県) 田邊子ツル子 (揖宿郡) 小手川清隆 (鹿屋市) 大月時子、高野眞綾 (埼玉県) 隈元郁子、増田隆信 (始良郡) 上原憲一 (出水郡) 鈴木忠夫 (大阪府) 小城光子、小城尚文 (薩摩郡) 西村洋子 (熊本県) 宇井豊 (神奈川県) 中村睦子 (曾於郡)

寄付金 (2003 年 7 月～8 月)

串良ローターアクトクラブ (宮崎県) 松元力、長崎綾子、木場眞一、土瀬戸邦洋 (東京都) (株) ハートフル、庵地紘一、山本澄子、上床久子 (川内市) 長友由紀子、鹿島友義 (鹿児島市) 帖佐秀人 (日置郡) 高野眞綾 (埼玉県)

机、いす募金 (2003 年 7 月～8 月)

串良ローターアクトクラブ (宮崎県) 山内京子、岩本由美 (広島県) 山本澄子、上床久子、関浩孝、小幡碧 (川内市) 坂上恵子 (鹿児島市)

- * 平成 15 年度会費に関しましては、前払い入金 (じゃっと新聞 6 月号に記載) の方も今回再度記載いたしました。
- * 会費自動引き落とし (郵便貯金口座) の引き落とし日が、8 月 30 日の為、自動引き落としでの会費納入の会員の方は、引き落とし確認後、次回のじゃっと新聞にて記載させていただきます。

《会費納入のお願い》

引き続きじゃっど会員を継続希望される会員の方で、まだ、会費を納入されていない方は、納入の程をよろしくお願い致します。振込用紙は、じゃっど新聞6月号に同封いたしました。よろしくお願い致します。

- | | |
|--------|----------------------|
| ① 郵便振替 | 口座番号 02050-2-4746 |
| | 口座名称 JADDO |
| ② 現金払い | 若松記念病院となり寿泉堂内じゃっど事務局 |

* 年会費 ; 2000 円

じゃっど

(アジアの子供たちを援助援助する会) JADDO

じゃっど ; 鹿児島弁で「そうだ。賛成。」の意味
ラオスの子供たちが、健康に育ち、そして教育を受けられるように少しでもお手伝いしようという目的で生まれた会です。

新規会員の募集 : 子供たちが元気に学校に行けるように、

あなたもお手伝いくださいませんか？

会員以外にも、随時「机、いす募金」の募集も行っています。
詳細は、事務局までお問い合わせください。

じゃっど事務局

電話 : 0996-27-0193

FAX : 0996-27-0193

e-mail : jaddo@po2.synapse.ne.jp

ホームページアドレス : <http://www2.synapse.ne.jp/jaddo/>

鹿児島県川内市神田町 11-20 若松記念病院内

会長 帖佐理子

事務担当 宮脇美智子